

H24 北陸地域国際物流戦略チーム 幹事会

日本海側拠点港における取り組み状況
【伏木富山港】

平成25年 3月8日

富山県

伏木富山港【国際海上コンテナ/国際フェリー・国際RORO船】

■伏木富山港港の概要 < 日本海側の「総合的拠点港」伏木富山港のさらなる発展をめざす >



■外貿コンテナ取扱個数の推移 (H24は速報値)

年次	隻数 (隻)	実入り	輸 出			貨物量 (トン)	実入り	輸 入			貨物量 (トン)	外 貿 計		
			空	計	(TEU)			空	計	(TEU)		空	計	(TEU)
20	427	19,561	10,040	29,601	331,444	24,450	5,761	30,211	471,083	44,011	15,801	59,812	802,527	
21	512	20,191	6,576	26,767	352,904	20,771	6,863	27,634	418,269	40,962	13,439	54,401	771,173	
22	552	22,069	8,627	30,696	385,671	25,338	8,232	33,570	512,030	47,407	16,859	64,266	897,701	
23	533	22,295	10,882	33,177	385,740	29,261	5,823	35,084	590,694	51,556	16,705	68,261	976,434	
24	466	20,525	10,941	31,466	355,355	28,431	5,508	33,939	594,050	48,956	16,449	65,405	949,405	

■コンテナ船定期航路 (平成25年2月1日現在)

航路名	便数 (便/週)	寄港地	備考
韓国航路	4	釜山	
中国航路	2	大連ー青島ー上海	
中国・韓国航路	3	釜山ー蔚山ー光陽ー天津新港ー大連 蔚山ー釜山ー光陽ー寧波ー上海	1便増 (2012.11)
ロシア極東航路	0.5	ホストチヌイーウラジオストク	
ロシア極東・韓国航路	1	釜山ーウラジオストク	新規 (2012.8)
合計	10.5		

伏木富山港【国際海上コンテナ/国際フェリー・国際RORO船】

■国際フェリー・国際RORO船実績及び目標値

	航路（寄港地）	便数 （便/週）	貨物 （トン）	乗降客数 （人）	備考
2010年 （実績値）	ロシア（ウラジオストク港）	2	344,934	68	不定期
	計	2	344,934	68	
2011年 （実績値）	ロシア（ウラジオストク港）	3	491,411		不定期
	計	3	491,411		
2015年 （目標値）	ロシア（ウラジオストク港）	2	491,000		
	計	2	491,000		
2025年 （目標値）	ロシア（ウラジオストク港）	7	976,000		
	計	7	976,000		

■RORO船定期航路（平成25年2月1日現在）

航路名	便数（便/週）	寄港地	備考
ロシア航路	1	ウラジオストク	月5便、H24.10月～
合計	1		

■他の港湾との連携の進捗状況

伏木富山港 — 名古屋港
<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災を踏まえ、港湾間の災害時の協力体制を構築する予定。 ・災害時の港湾施設の相互利用、利用可能岸壁や航路などの情報共有を行うことにより、緊急支援物資の速やかな輸送等を実現し、地域経済への影響を最小限に抑える。
伏木富山港 — 苫小牧港
<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災を踏まえ、港湾間の災害時の協力体制を構築する予定。 ・災害時の港湾施設の相互利用、利用可能岸壁や航路などの情報共有を行うことにより、緊急支援物資の速やかな輸送等を実現し、地域経済への影響を最小限に抑える。

伏木富山港【国際海上コンテナ/国際フェリー・国際RORO船】

■既存施設の有効活用

●伏木富山港(新湊地区)既設コンテナバースの延伸・増深

- ・既存岸壁の延長及び既存コンテナヤードの拡張により、既存管理施設を有効に活用し、国際競争力を強化する。
- ・現在、事業化へ向けて国土交通省へ要望中。

●民間専用バースの災害時利用協定書締結(H23年8月)

- ・民間の専用バースを災害時における救援物資や資材等の一時荷揚げ場所として利用し、救援物資や被災者救護活動に従事する船舶の接岸場所として有効利用する。

●既存岸壁の耐震強化

- ・災害時の緊急物資の受け入れのための岸壁として、早期に経済的な効果を発揮するため、既存の岸壁である伏木 地区の万葉3号岸壁と富山地区の2号岸壁を耐震補強する。
- ・事業化に向けて港湾計画を変更。(富山地区H24年1月、伏木地区H24年3月)
- ・現在、事業化へ向けて国土交通省へ要望中。

■計画実現のための推進体制や行動計画

●伏木富山港日本海側拠点港推進協議会の設立(H24年7月)

◇目的

日本海側拠点港の形成に向けた計画書に定めた目標の達成に向け、国、県、関係市、関係企業・団体がより一層連携して様々な取組みを行う。

◇内容

- ・意見・情報交換
- ・各取組みの検証、改善・調整

伏木富山港【国際海上コンテナ/国際フェリー・国際RORO船】

■その他の取り組み状況

●大型クルーズ客船誘致に向けた知事によるトップセールス

平成24年度
寄港実績

1. クラブ・ハーモニー(5月25日(金)寄港) 伏木地区寄港 乗船客数:約370名
・ 旅程:釜山→境港→伏木富山→釜山
2. コスタ・ビクトリア(6月8日(金)寄港) 伏木地区寄港 乗船客数:約2,030名
・ 旅程:仁川→麗水→博多→境港→伏木富山→釜山
3. クラブ・ハーモニー(8月5日(日)寄港) 新湊地区寄港 乗船客数:約170名(うち日本人150名)
・ 旅程:秋田→伏木富山→鳥取港

●環日本海クルーズ推進協議会の設立(H24.4)

◇目的

日本海側に位置する港湾及びその背後地域との観光地等の連携により、環日本海クルーズの振興を図り、日本海側地域の経済成長と、我が国の観光立国施策の推進に寄与する。

◇構成団体

- ① 伏木富山港…富山県、富山市、高岡市、射水市
- ② 小樽港…小樽市、北海道
- ③ 京都舞鶴港…京都府、舞鶴市

◇事業内容

環日本海クルーズに関する情報収集、広報宣伝及び啓発等
〔H24年度事業〕

- ① 3港を紹介する共同パンフレットの作成
- ② クルーズ見本市への出展
- ③ クルーズ客船の乗船客の入国手続きが迅速に行われるよう、国のCIQ関係機関への要望活動の実施等